安全データシート(SDS)

A-45377-00013/01 1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称 接着剤

製品コードA98L-0004-0765供給者の会社名ファナック株式会社

住所 山梨県南都留郡忍野村忍草3580

電話番号 0120-240-763 ファックス番号 0120-240-879

電子メールアドレス https://www.fanuc.co.jp/ja/contact/form/index.html

推奨用途及び使用上の制限 接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

<u>危険有害性グラス</u> <u>危険有害性区分</u> <u>標的臓器</u>

 皮膚腐食性/刺激性
 区分2

 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 区分1

 皮膚感作性
 区分1

 特定標的壁器素性(単原ばく露)
 区分2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3 気道刺激性

水生環境有害性 短期(急性) 区分3

GHSラベル要素

絵表示



安全対策

応急措置



注意喚起語 危険

危険有害性情報 H315 皮膚刺激。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H318 重篤な眼の損傷。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H402 水生生物に有害。 P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。

P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。

P304+P340+P312 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗った場合:水で数分間注意深く洗った場合:水で数分間注意深く洗った場合:水で数分間注意深く洗った。

P305+P351+P338+P315 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。

P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ,再使用する場合には洗濯をすること。

保管 P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、 適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 危険有害成分及び濃度

混合物

廃棄

成分	wt%	GHS分類
CAS-No.		
リン酸ビス(2-メタクリロイルオキシエチル)	>= 3 - < 10 %	H315 皮膚刺激 2
32435-46-4		H318 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1
		H317 皮膚感作性 1B
		H335 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	>= 3 - < 10 %	H302 急性毒性 4; 経口
69011-36-5		H318 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1
		H401 水生環境有害性 短期(急性) 2
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	>= 2.5 - < 10 %	H402 水生環境有害性 短期(急性) 3
25736-86-1		
	>= 1 - < 2.5 %	H302 急性毒性 4; 経口
110-16-7		H312 急性毒性 4; 経皮
		H315 皮膚刺激 2
		H319 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2A
		H317 皮膚感作性 1
		H335 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3
		H402 水生環境有害性 短期(急性) 3
	\1 _2 E 0/	
	/-1-<2.5 %	H227 引火性液体 4 H242 有機過酸化物 E
キシド)		
80-15-9		H302 急性毒性 4; 経口
		H330 急性毒性 2; 吸入
		H312 急性毒性 4; 経皮
		H314 皮膚腐食性 1B
		H335 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3
		H373 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2
		H401 水生環境有害性 短期(急性) 2
		H411 水生環境有害性 長期(慢性) 2
メタクリル酸	>= 0.1 - < 0.25 %	H227 引火性液体 4
79-41-4		H302 急性毒性 4; 経口
		H332 急性毒性 4; 吸入
		H311 急性毒性 3; 経皮
		H314 皮膚腐食性 1A
		H318 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 1
		H335 特定標的臟器毒性 - 単回暴露 3
		H402 水生環境有害性 短期(急性) 3
メタクリル酸メチル	>= 0.1 - < 0.25 %	H225 引火性液体 2
ステンジルigスブル 80-62-6	2 0.1 - < 0.25 %	H315 皮膚刺激 2
00-02-0		H317 皮膚刺激 2
		H335 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3
n (*) 1	> - 0.0025 - 4.0.025.07	H402 水生環境有害性 短期(急性) 3
p - ベンゾキノン	>= 0.0025 - < 0.025 %	H228 可燃性固体 1
106-51-4		H301 急性毒性 3; 経口
		H331 急性毒性 3; 吸入
		H315 皮膚刺激 2
		H319 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2
		H335 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3
		H400 水生環境有害性 短期(急性) 1
	11)(京元+7担<+A1.++	

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 直ちに流水で10分以上洗い、医師の診察を受けること 直ちに流水あるいは、すすぎ液で最低5分間、眼を洗い流す。

眼に入った場合 痛み(激しい痛み、光への過敏、視力障害)が残る場合、洗浄を続け、医師の診察を受ける。

接着剤を飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

消火方法 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。

泡 粉末消火薬剤 二酸化炭素

火災時の特有の危険有害性 炭素酸化物

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消防隊員は陽圧自給式呼吸器(SCBA)を着用すること。

6. 漏出時の措置

注意事項 大量に放出した場合、消防署に連絡する。

保護具を着用すること。 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 皮膚および眼への接触を避けること。

下水管に流さないこと。 環境に対する注意事項 さらなる漏れや流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項 よく換気された場所で使用すること。

手袋と安全眼鏡を着用すること。

感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。

保管

安全な保管条件 しっかりした換気/排気を確保すること。

原容器に入れたまま、8-21°Cで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

日本 許容濃度等

JPISHL OEL

安衛法:作業環境評価基準で定める管理濃度

JPJSOH OEL

データ無し/対象外

日本産業衛生学会:許容濃度

JP NOEL

安衛法:化学物質による健康障害防止のための濃度の基準(濃度基準値設定物質)

成分【規制物質】	ppm	mg/m3	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
メタクリル酸	2	7	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
[メタクリル酸]					
メタクリル酸	20		時間加重平均(TWA):	発効日: 2025年10月1日	JP NOEL
[メタクリル酸]					
メタクリル酸メチル		8.3	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
メタクリル酸メチル	20		時間加重平均(TWA):	発効日: 2025年10月1日	JP NOEL
[メタクリル酸メチル]					
メタクリル酸	20		時間加重平均(TWA):		ACGIH
メタクリル酸メチル	50		時間加重平均(TWA):		ACGIH
メタクリル酸メチル	100		短時間ば〈露限度(STEL):		ACGIH

設備対策 衛生学及び安全指針に基づいて取扱うこと。

十分な換気を保つこと。 保護具 換気の良い場所でのみ使用すること。 呼吸用保護具

手の保護具 適切な保護手袋 保護眼鏡を着用すること。 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具 適切な保護服を着用すること。

特別な注意事項

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体 淡黄色 臭い アクリル 融点 データ無し 沸点 データ無し 可燃性 データ無し/対象外 爆発範囲 (下限) データ無し/対象外 爆発範囲(上限) データ無し/対象外 引火点 > 93 °C (> 199.4 °F) 自然発火点 データ無し/対象外 分解温度 データ無し/対象外 рΗ 該当なし 蒸気密度 データ無し 蒸気圧 データ無し/対象外 密度 データ無し/対象外 データ無し/対象外 粒子特性 水への溶解度 データ無し/対象外 粘度 データ無し/対象外

10. 安定性及び反応性

オクタノール/水分配係数

反応性 強酸化剤

化学的安定性 推奨保存状態下では安定している。 避けるべき条件 通常の使用、保管条件では安定。 混触危険物質 適切に使用した場合特になし。

危険有害な分解生成物 炭素酸化物

2

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
リン酸ビス(2-メタクリロイルオキシエチル)	LD 50	> 5,000 mg/kg	ラット	指定されていません
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	Acute toxicity estimate (ATE)	500 mg/kg		専門家の判断
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LD 50	500 - 2,000 mg/kg	ラット	指定されていません
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
マレイン酸	LD 50	2,400 mg/kg	マウス	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD Lo	5,000 mg/kg	マウス	
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD 50	382 mg/kg	ラット	other guideline:
メタクリル酸	LD 50	1,332 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,600 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,250 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,200 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1,060 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD 50	2,224 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD 50	1,320 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
メタクリル酸メチル	LD 50	7,800 mg/kg	ラット	
メタクリル酸メチル	LD 50	6,000 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸メチル	LD 50	9,400 mg/kg	ラット	
メタクリル酸メチル	LD 50	9,400 mg/kg	ラット	指定されていません
p ーベンゾキノン	LD 50	130 mg/kg	ラット	
p ーベンゾキノン	LD 50	130 mg/kg	ラット	指定されていません

急性毒性(経皮)

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LD 50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
マレイン酸	LD 50	1,560 mg/kg	ウサギ	
マレイン酸	LD 50	1,560 mg/kg	ウサギ	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド	Aguta tavicity actimate (ATE)	1 100 mg/kg		専門家の判断
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	Acute toxicity estimate (ATE)	1,100 mg/kg		等门家の判例
メタクリル酸	LD 50	500 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1 g/kg	モルモット	
メタクリル酸	LD 50	500 - 1,000 mg/kg	ウサギ	皮膚毒性スクリーニング
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	500 mg/kg		専門家の判断
 メタクリル酸メチル	I D FO	> 5 000 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402
メツソリル凹ダメナル 	LD 50	> 5,000 mg/kg	1774	(Acute Dermal Toxicity)
p - ベンゾキノン	LD 50	> 2,000 mg/kg	ラット	指定されていません

急性毒性(吸入)

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている

有害物質	値型		試験環境	ばく露時間	種	試験方法
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	LC 0	>= 0.3 mg/l	蒸気	8 h	ラット	B-Vidit 7 7 72
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LC 50	> 1.6 mg/l	エアゾール	4 h	ラット	
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LC 50	> 100 mg/m3	蒸気	6 h	ラット	
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LC 50	> 1,600 mg/m3	エアゾール	4 h	ラット	
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
マレイン酸	LC 50	> 0.72 mg/l	吸入	1 h	ラット	
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC 50	1.370 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC 50	1.245 mg/l	蒸気	4 h	ラット	評価計算
メタクリル酸	LC 50	3.19 - 6.5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	3.19 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
メタクリル酸メチル	LC 50	29.8 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません

皮膚腐食性/刺激性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法	
 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404	
	水川茂州主なし		ウサギ	(Acute Dermal Irritation / Corrosion)	
マレイン酸	刺激性	24 h	human	Patch Test	
キュメンヒドロパーオキサイド	corrosive		ウサギ	Draize test	
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	Corrosive	ウサギ		Draize test	
メタクリル酸	corrosive	2 min	1ウサキ	OECD Guideline 404	
		3 min		(Acute Dermal Irritation / Corrosion	

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
マレイン酸	highly irritating		Iワサキ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
メタクリル酸	corrosive		ウサギ	Draize test

呼吸器又は皮膚感作性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法	
ロン 悪色ビスノス・スクカロロ フル・ナナン エイル ン	a a maiti ai ma	Mouse local lymphnode assay	707	equivalent or similar to OECD Guideline 429	
リン酸ビス(2-メタクリロイルオキシエチル)	sensitising	(LLNA)	マウス	(Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)	
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)	
マレイン酸	consitising	Mouse local lymphnode assay	マウス	OECD Guideline 429	
イレイン的	sensitising	(LLNA)	4.77	(Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)	
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)	
マレイン自文	Sensitising	(LLNA)	Chreat	OLCD Guideline 400 (Skiri Serisitisation)	
メタクリル酸	not consitising	Buehler test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406	
メダクリル的	not sensitising	Duemer test	こんてット	(Skin Sensitisation)	
	consitioing	Mouse local lymphnode assay	707	OECD Guideline 429	
メタクリル酸メチル	sensitising	(LLNA)	マウス	(Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)	

生殖細胞変異原性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目/管理経路	代謝活性化/ばく露時間	種	試験方法
 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	陰性	bacterial reverse mutation assay	有無		OECD Guideline 471
	医压	(e.g Ames test)	H M		(Bacterial Reverse Mutation Assay)
 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	 陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	 有無		OECD Guideline 473
	医压	iii vicio manimalian chi omosome abenation test	arration test 有無		(In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476
		Indifficial cell gene mutation assay	155dy 行 無		(In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
 マレイン酸	陰性	bacterial reverse mutation assay	no data		Ames試験
(レイン酸	四二	(e.g Ames test)	no data		ATTICSDIAM
 マレイン酸	 陰性	mammalian cell gene mutation assay	 有無		OECD Guideline 476
(レーン政	四二	manimalian cell gene mutation assay	H.M.		(In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
キュメンヒドロパーオキサイド	陽性	bacterial reverse mutation assay	without		OECD Guideline 471
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	ア勿ユ	(e.g Ames test)	Without		(Bacterial Reverse Mutation Assay)
メタクリル酸	陰性	bacterial reverse mutation assay	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471
		(e.g Ames test)	<u> </u>		(Bacterial Reverse Mutation Assay)
メタクリル酸メチル	陰性	bacterial reverse mutation assay	有無		指定されていません

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

近日 例6、近日	出口がは、出口がに口にする方々にお食り関心と生に方々に行くいる。							
成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法		
マレイン酸	not carcinogenic	oral: feed	2 y / daily	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)		
メタクリル酸	not carcinogenic	吸入	2 v	マウス	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogeni		

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成日物は、成日物に打圧する力熱に行に物質の関連で至に力熱と行ている。							
有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法		
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	NOAEL P >= 250 mg/kg NOAEL F1 >= 250 mg/kg NOAEL F2 >= 250 mg/kg	2世代試験	皮膚	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)		
マレイン酸	NOAEL F1 150 mg/kg NOAEL F2 55 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)		
メタクリル酸	NOAEL P 50 mg/kg NOAEL F1 400 mg/kg NOAEL F2 400 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)		

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	評価	ばく露経路	標的臓器	備考
メタクリル酸	呼吸器への刺激のおそれ。			

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	試験方法
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	NOAEL >= 500 mg/kg	oral: feed	90 d / daily	ラット	OECD Guideline 408
がり(オキシエテレン) = アルキルエーテル	NOAEL >= 300 Hg/kg	orar. reed	90 d / dally	אשכ	(Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
マレイン酸	NOAEL >= 40 mg/kg	oral: feed	90 d / daily	ラット	OECD Guideline 408
	NOALL >= 40 Hig/kg	orar. reed	30 u / ually	ا الراد	(Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)		inhalation: aerosol	6 h/d 5 d/w	ラット	指定されていません
メタクリル酸 メタクリル酸		inhalation	90 d	ラット	OECD Guideline 413
メダンリル政 L		IIIIIdiduoii	6 h/d, 5 d/w	אשכ	(Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)
 メタクリル酸メチル	LOAEL 2000 ppm		14 weeks	マウス	Dose Range Finding Study
NO DIVERNO IV	LOALL 2000 ppiii	inhalation	6 hrs/day, 5 days/wk	1,77	Dose Range Finding Study
 メタクリル酸メチル 	NOAEL 1000 ppm	inhalation	14 weeks 6 hrs/day, 5 days/wk	マウス	Dose Range Finding Study

誤えん有害性 データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報

下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性(魚):

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

·						
有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法	
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	LC50	10 mg/l			OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)	
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	LC50	> 10 - 100 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)	
マレイン酸	LC50	> 245 mg/l	48 h	Leuciscus idus	DIN 38412-15	
キュメンヒドロパーオキサイド	LC50	3.9 mg/l	96 h		OFCD Cuidalina 202 (Fish Aputa Taylaitu Tast)	
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LCSU	3.9 mg/1	96 11	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)	
メタクリル酸	LC50	85 mg/l	96 h	Salmo gairdneri	EPA OTS 797.1400 (Fish Acute Toxicity Test)	
メタグリル的	LCSU	65 Hig/I	96 11	(new name: Oncorhynchus mykiss)	EPA 013 797.1400 (FISH Acute Toxicity Test)	
メタクリル酸	NOEC	10 mg/l	35 d	Danio rerio	OECD Guideline 210 (fish early lite stage toxicity test)	
メタクリル酸メチル	LC50	350 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)	
p - ベンゾキノン	LC50	0.04 - 0.125 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	指定されていません	

毒性(ミジンコ):

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	EC50	4 - 15 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
マレイン酸	EC50	42.81 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	18.84 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
メタクリル酸	EC50	> 130 mg/l	48 h	Daphnia magna	EPA OTS 797.1300 (Aquatic Invertebrate Acute Toxicity Test, Freshwater Daphnids)
メタクリル酸メチル	EC50	69 mg/l	48 h	Daphnia magna	EPA OTS 797.1300 (Aquatic Invertebrate Acute Toxicity Test, Freshwater Daphnids)
p - ベンゾキノン	EC50	0.13 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性 :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
マレイン酸	NOEC	10 mg/l	21 d	Daphnia magna	other guideline:
メタクリル酸	NOEC	53 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
メタクリル酸メチル	NOEC	37 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性(藻類):

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	EC50	5 - 10 mg/l	96 h		OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC50	74.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	11.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキサイド	EC50	3.1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC30	3.1 mg/i	/211	(reported as Scenedesmus subspicatus)	OLCD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキサイド	NOEC	1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	NOLC	T IIIg/I	/211	(reported as Scenedesmus subspicatus)	OLCD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸	NOEC	8.2 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
	NOLC	0.2 mg/1		(new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OLCD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
 メタクリル酸	EC50	45 mg/l 72	72 h	Selenastrum capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
アラフラル自文	LC30			(new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OLCD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸メチル	酸メチル EC50 170 mg/l		96 h	Selenastrum capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
プラブブル III			90 11	(new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OLCD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸メチル	NOEC	100 mg/l	96 h	Selenastrum capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
スタンリル段メデル	INOEC	100 mg/l		(new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ח מייול ויי	ECEO	1.5 mg/l	72 h	Scenedesmus subspicatus	OECD Cuidolino 201 (Alga, Crouth Inhibition Tost)
p ーベンゾキノン	EC50			(new name: Desmodesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
マレイン酸	EC10	44.6 mg/l	18 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC10	70 mg/l	30 min	指定されていません	指定されていません
メタクリル酸	EC10	100 mg/l	17 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
メタクリル酸メチル	EC20	> 150 - 200 mg/l	30 min	activated sludge, domestic	ISO 8192 (Test for Inhibition of Oxygen Consumption by Activated Sludge)
p ーベンゾキノン	EC0	< 1 mg/l	30 min		指定されていません

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル	readily biodegradable	aerobic	> 60 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	readily biodegradable		> 60 %	28 day	OECD 301 A - F
マレイン酸	readily biodegradable	aerobic	97.08%	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	容易に生分解されていません。	aerobic	3%	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
メタクリル酸	readily biodegradable	aerobic	86%	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)
メタクリル酸	inherently biodegradable	aerobic	100%	14 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
メタクリル酸メチル	readily biodegradable	aerobic	94%	14 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
p ーベンゾキノン	容易に生分解されていません。	aerobic	23 - 61 %	119 d	EU Method C.4-B (Determination of the "Ready" BiodegradabilityModified OECD Screening Test)

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキサイド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	9.1			計算	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
マレイン酸	-1.3	20 °C	OECD Guideline 107
マレイン酸	-1.3	20 °C	(Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
キュメンヒドロパーオキサイド	1.6	25 °C	OECD Guideline 117
(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.6	25 °C	(Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
メタクリル酸	0.93	22 °C	OECD Guideline 107
スタクリル政	0.93	22 30	(Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
メタクリル酸メチル	1.38	20 °C	other guideline:
p ーベンゾキノン	0.1 - 0.3	22.00	OECD Guideline 107
b = ハンソキノン 		23 10	(Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意 推奨廃棄方法 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。 汚染容器包装の廃棄方法 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトルは化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。 廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。 14. 輸送上の注意 Marine transport IMDG 危険物には該当しない。 Air transport IATA 危険物には該当しない。 国内輸送規制 陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。 海上規制情報 船舶安全法に定められている運送法法に従う。 航空規制情報 航空法に定められている運送方法に従う。 15. 適用法令 労働安全衛生法 マレイン酸 名称等を通知すべき有害物 キュメンヒドロパーオキサイド(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) メタクリル酸メチル 名称等を表示すべき有害物 マレイン酸 キュメンヒドロパーオキサイド(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 特定化学物質第1類物質 該当なし 特定化学物質第2類物質 該当なし 特定化学物質第3類物質 該当なし 特定化学物質特別管理物質 該当なし 該当なし 第1種有機溶剤等 第2種有機溶剤等 該当なし 第3種有機溶剤等 該当なし 変異原性が認められた既存化学物質 キュメンヒドロパーオキサイド(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 変異原性が認められた届出物質 該当なし がん原性物質 該当なし (ISHL 第 57-1、57-2 および 57-3条、 施行規則条項 第577-2-3条) マレイン酸 皮膚等障害化学物質等 キュメンヒドロパーオキサイド(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 消防法 第4類引火性液体,第4類第3石油類(非水溶性) 毒物及び劇物取締法 該当しない 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (含有率表示は代表値) (含有率単位が%Oの場合 %O=1/10%) 第一種指定化学物質 ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル 5.2% 管理番号: 407 第二種指定化学物質 キュメンヒドロパーオキサイド(1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 1.76% 管理番号: 440 16. その他の情報 引用文献 [注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 免責 この安全性データシートは日本産業規格(JIS: Z 7253)に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いか なる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。 この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。